

# 令和 7 年度進捗状況及び令和 8 年度取組

< 令和 8 年度 第 1 回 沖縄県地域公共交通協議会 >

令和 8 年 5 月 26 日  
沖縄県

# **1 令和 7 年度進捗状況及び令和 8 年度取組**

# 1.1 計画の目標及び目標達成に向けた施策・事業

## 4. 計画の基本方針と目標

< 沖縄県地域公共交通計画（概要版） 抜粋 >

### 計画の基本方針

本県が目指す『社会：誰一人取り残すことのない優しい社会の形成』・『経済：強くしなやかな自立型経済の構築』・『環境：持続可能な海洋島しょ圏の形成』といった基本方向と、これからの社会経済動向、沖縄本島の都市構造やそれを支える骨格交通軸等の将来像を十分に踏まえた中で、県民の日常生活、社会生活、都市活動、観光交流に伴う需要を適切に充足し、脱炭素社会に向けた環境負荷軽減を図るために必要となる、本計画の基本方針を次のように定め、**経済、まちづくり、福祉、教育、エネルギー**など幅広い関係者の相互理解を醸成しながら、**社会全体において、その実現に向けて取り組む。**

### 基本方針

**マイカーに依存しなくても、安心・快適で活力ある沖縄を築く交通社会の実現（クルマから人中心の社会へ※）**

※目指す交通社会の主役は私たち「人」であり、これまでのクルマ中心の社会から、地域の活力と魅力を生み出すための都市交通政策が欠かせない。このため、まちの賑わいや環境等を重視した地域公共交通を基軸に、少子高齢化、地域の活力維持、医療・福祉・商業等の生活機能確保を通して、人々が安心・快適に暮らせるよう地域公共交通と連携したまちづくりを目指すものである（コンパクト＋ネットワーク）。

### 計画の目標

#### 目標 1

#### 都市活動を支え、都市構造を誘導する効率的な公共交通体系の構築

- 1-1 中南部都市圏における市街地と一体的な骨格軸を誘導する公共交通体系
- 1-2 都市の活動圏域やまちづくり動向を踏まえた効率性に優れた公共交通体系
- 1-3 各 1 次生活圈でもより高次な都市サービス享受を支援する公共交通体系

#### 目標 2

#### 県民全ての安全・安心で健康的な暮らしを支える交通環境の創出

- 2-1 子ども世代から、健康的で安全な暮らしを育む交通環境
- 2-2 高齢者等でも、快適な生活を楽しめる交通環境
- 2-3 まちづくりとも連携し、誰もがゆとりある生活ができる交通環境

#### 目標 3

#### 誰もが快適に沖縄観光を楽しめる交通体系の整備

- 3-1 シームレスな観光の実現に向けた交通拠点間の連携強化
- 3-2 多様な交通モードが選択できるような観光・交通まちづくりの推進

#### 目標 4

#### 地域・事業者・行政等が一体で取り組む、持続可能な交通社会の実現

- 4-1 過度なマイカー依存型社会からの転換に向け、関係者が協力して取り組む交通社会
- 4-2 県民・事業者・行政の全てが経済的にも持続可能な交通社会

# 1.1 計画の目標及び目標達成に向けた施策・事業

## 5. 目標達成に向けた施策・事業

< 沖縄県地域公共交通計画（概要版） 抜粋 >

計画の基本方針と目標を踏まえ、掲げた4つの目標それぞれを達成するために必要と考えられる24の施策を掲げた。これらの施策については、各施策の実施主体、スケジュールに基づき今後具体的に推進していく。

### 目標1 都市活動を支え、都市構造を誘導する効率的な公共交通体系の構築

都市圏における骨格軸の誘導、拠点都市形成、各1次生活圏での都市サービス享受を支援する公共交通体系を構築するため、需要構造や生活ニーズ、まちづくり動向等を踏まえた基幹バスシステムの導入や都市内公共交通体系等の構築等に取り組む。

#### (1) 中南部都市圏における市街地と一体的な骨格軸を誘導する公共交通体系

- 施策1 中南部都市圏の骨格軸を形成する基幹バスシステムの導入
- 施策2 沖縄都市モノレールの利便性向上

#### (2) 都市の活動圏域やまちづくり動向を踏まえた効率性に優れた公共交通体系

- 施策3 拠点都市を中心とした都市内公共交通体系の構築
- 施策4 東海岸地域における円滑な公共交通体系の構築
- 施策5 高速バスの拡充及び利便性の向上

#### (3) 各1次生活圏でもより高次な都市サービス享受を支援する公共交通体系

- 施策6 各圏域での隣接市町村や拠点都市を結ぶ公共交通サービスのあり方検討

### 目標2 県民全ての安全・安心で健康的な暮らしを支える交通環境の創出

子ども世代から健康的で安全な暮らしを育む交通環境の確保するため、小中学生、高校生、大学生それぞれに必要な通学送迎対策を講じる。また、今後増加する高齢者に対しては、健康的な日常を過ごすための移動支援策を拡充し、まちづくりとも連携しながら、誰もがゆとりある生活ができる交通環境創出に取り組む。

#### (1) 子ども世代から、健康的で安全な暮らしを育む交通環境

- 施策7 小中学校への歩く通学環境の整備推進
- 施策8 高校通学の需要・ニーズ把握と支援事業の継続・拡充
- 施策9 大学におけるキャンパスバスシステム等の検討

#### (2) 高齢者等でも、快適な生活を楽しめる交通環境

- 施策10 高齢者・障がい者等への移動支援策等の検討・拡充
- 施策11 自助や共創等による持続可能な地域公共交通サービスの検討・拡充

#### (3) まちづくりとも連携し、誰もがゆとりある生活ができる交通環境

- 施策12 各市町村中心部・中心地における交通まちづくりの重点的な検討
- 施策13 交通まちづくりにあわせた安全で快適な歩行環境の整備

### 目標3 誰もが快適に沖縄観光を楽しめる交通体系の整備

那覇空港における公共交通のわかりやすさ向上に向けた施策を展開するとともに、空港・港湾・観光拠点エリアを結ぶ公共交通の利便性向上に向けた検討を進める。また、観光二次交通結節点を設置するとともに、那覇やその他市町村においても、観光客による地域との交流や賑わいを創出するため、観光による地域振興を促す交通戦略展開に取り組む。

#### (1) シームレスな観光の実現に向けた交通拠点間の連携強化

- 施策14 那覇空港の公共交通結節機能の拡充
- 施策15 空港・港湾・観光拠点エリアを結ぶ公共交通の利便性向上

#### (2) 多様な交通モードが選択できるような観光・交通まちづくりの推進

- 施策16 各観光地域への移動が可能な観光二次交通結節点の設置
- 施策17 観光まちづくりを踏まえた周遊型交通システム導入の検討

### 目標4 地域・事業者・行政等が一体で取り組む、持続可能な交通社会の実現

沖縄に根強く定着しているマイカー中心の社会から転換するため、日々の暮らしに係る様々な側面で粘り強い取組を推進していく必要がある。このため、自治体、学校、企業等において、マイカーに依存しなくても安全・快適に通勤・通学できるよう必要な対策を講じていく。また、これまでの赤字欠損補助を中心としたバス路線の確保・維持方策については、持続可能な新たな仕組みについて検討を進めるとともに、新たな人材確保の取組や必要となる支援についても継続的に検討するなど、持続可能な交通社会の実現に取り組む。

#### (1) 過度なマイカー依存型社会からの転換に向け関係者が協力して取り組む交通社会

- 施策18 地域自らの政策と資源が総動員された取組
- 施策19 小中学校、高校、大学における送迎交通、マイカー通学削減に向けた取組
- 施策20 業界団体・企業等に対する実効性のあるTDM施策の検討・推進
- 施策21 公共交通利用促進に向けた広報、啓発活動の継続的な実施
- 施策22 デジタル技術等を活用した情報サービスの拡充とデータ連携

#### (2) 県民・事業者・行政の全てが経済的にも持続可能な交通社会

- 施策23 バス路線確保・維持のための事業推進と新たな仕組みの検討
- 施策24 地域公共交通の運行、担い手の確保

# 1.1 計画の目標及び目標達成に向けた施策・事業

## 6. 強力に推進する施策・事業

< 沖縄県地域公共交通計画（概要版） 抜粋 >

### 強力に推進する「3つの視点」と施策・事業

基本的な考え方やスパイラルの好循環化に向けた整理を踏まえ、目標達成に向けた全ての施策・事業を確実に推進していくとともに、特に「3つの視点」に関する施策を強力に推進していく。

#### 視点1 地域公共交通の未来を育むための根幹的な視点

効率的で持続可能性の高いコンパクトシティ形成に向けた取組や、その中で高い利便性と事業性にも優れた骨格軸を形成する公共交通サービスの展開施策は、計画期間内から強力果敢に取り組む

施策1 中南部都市圏の骨格軸を形成する基幹バスシステムの導入

施策2 沖縄都市モノレールの利便性向上

施策3 拠点都市を中心とした都市内公共交通体系の構築

3-2 拠点都市におけるまちづくりと連携した交通結節点の拡充・整備

施策12 各市町村中心部・中心地における交通まちづくりの重点的な検討

12-1 日常生活を支援する商業、医療、行政機能等が集積した地域拠点づくりの検討

12-2 各市町村における地域公共交通計画の検討、推進

#### 視点2 地域公共交通の再生に欠かせない視点

公共交通を取り巻く負のスパイラルを好循環化するトリガーと期待される施策を推進するため、関係者全員が危機意識をさらに高めながら、スピード感を持って取り組む

施策18 地域自らの政策と資源が総動員された取組

18-1 自治体職員自らの過度なマイカー通勤の削減等に向けた取組

18-2 公共交通を利用する“きっかけ”づくりの検討・実施

施策20 業界団体・企業等に対する実効性のあるTDM施策の検討・推進

20-1 業界団体・企業等へのMM施策の実施

20-2 企業等におけるマイカー通勤用駐車場と通勤手当の実態把握検討

20-3 企業等へのインセンティブ施策検討（表彰、通勤手当支援、入札要件等）

#### 視点3 沖縄全体の持続的発展に必要な視点

沖縄経済発展に向けたリーディング産業である観光振興に寄与する施策推進（地域公共交通での共創へも期待）

施策14 那覇空港の公共交通結節機能の拡充

施策15 空港・港湾・観光拠点エリアを結ぶ公共交通の利便性向上

施策16 各観光地域への移動が可能な観光二次交通結節点の設置

施策17 観光まちづくりを踏まえた周遊型交通システム導入の検討

地域公共交通の安定的な運営のためのスキームづくりと、地域公共交通の施策推進に必要な財源確保

施策23 バス路線確保・維持のための事業推進と新たな仕組みの検討

23-2 持続可能な新たな仕組みの検討及び公共交通に必要な財源確保

# 1.2 令和7年度の進捗状況及び令和8年度の取組

## 目標1 都市活動を支え、都市構造を誘導する効率的な公共交通体系の構築

| R7取組状況                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題                                                                                                                                                                                                                                                          | 今後の展開                                                                                                                                                                                                                                                                       | R8取組内容                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施策1 中南部都市圏の骨格軸を形成する基幹バスシステムの導入                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                               |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 運転手不足の見直し等を踏まえ、<b>国道58号を中心としたバス路線への影響や効率化の可能性等を検討</b></li><li>・ バスレーン延長に向け、<b>協力型バスレーンの実証実験の実施内容について検討を開始</b></li><li>・ <b>乗降方法の検討は</b>、過年度に引き続きバス事業者との勉強会の中で議論</li><li>・ <b>西普天間交通対策は</b>、関係機関とのWTで必要な交通対策について検討・調整等を実施</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 交通結節点の整備動向等も踏まえながら、<b>関係機関と継続的に取組むことが課題</b></li><li>・ <b>自動車交通量の低減・分散等に向けた総合的な施策の取組が課題</b></li><li>・ 乗降方法の検討は、バス事業者の理解と協力を得るための<b>継続的な勉強会の開催が重要</b></li><li>・ 琉大病院移転後の交通状況を踏まえ、<b>必要な交通対策を着実に進めることが重要</b></li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>バス網効率化の取組を加速させる予定</b></li><li>・ 引き続き、<b>協力型バスレーン実証実験の実施に向けた取組を検討・推進していく</b></li><li>・ <b>乗降方法の検討は</b>、課題解決方を整理するとともに、<b>スモールスタートに向けた条件整理</b>や今後の部分運用計画を検討</li><li>・ <b>西普天間交通対策は</b>、引き続き<b>移転後の情報共有及び必要に応じた対策等</b>を検討</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>協力型バスレーン実証実験の実施に向け、関係機関との合意形成に向けた協議等の実施</b>を行う</li><li>・ 乗降方法の<b>検討は</b>、バス事業者勉強会の中で議論を行い、<b>連節バスの導入も見据え、バス停構造の改修の必要性などを検討する</b></li><li>・ 西普天間交通対策は、関係機関とともにWTにおいて必要な交通対策について検討調整等を実施する</li></ul> |
| 施策2 沖縄都市モノレールの利便性向上                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                               |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>モノレール3両化はこれまでに5編成導入済</b></li><li>・ <b>中部方面からの路線バス利便性向上</b></li></ul>                                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 朝ラッシュ時間帯の<b>混雑緩和が課題</b></li><li>・ <b>てだこ浦西駅と西普天間を結ぶバス路線運行</b></li></ul>                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>3両化車両を計画的に導入予定</b></li><li>・ <b>てだこ浦西駅の結節機能拡充の検討</b></li></ul>                                                                                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>3両化車両2編成を追加導入</b></li><li>・ <b>てだこ浦西駅の結節機能拡充に向けた294番線（てだこ浦西駅～西普天間）の朝夜の増便に係る実証実験等の実施</b></li></ul>                                                                                                  |
| 施策3 拠点都市を中心とした都市内公共交通体系の構築                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                               |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 拠点都市を中心とした<b>効率的な交通網体系の検討</b></li><li>・ <b>胡屋、名護の交通結節点整備は</b>、整備方針の検討に着手、引き続き調査を進める。</li></ul>                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 交通結節点整備、効率的な網体系、周辺まちづくり等の<b>相互連携が課題</b></li></ul>                                                                                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>圏域ネットワークイメージ具体化に向け、圏域分科会で引続き議論。結節点は、引き続き関係者と連携を図り早期事業化を目指す</b></li></ul>                                                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 圏域別の分科会等で引き続き議論</li><li>・ 交通結節点は、関係者と引き続き連携し取り組む</li></ul>                                                                                                                                            |
| 施策4 東海岸地域における円滑な公共交通体系の構築                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                               |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 円滑な公共交通体系は、<b>施策6と連携して検討</b></li><li>・ マリントウンMICEエリアの核となる大型MICE施設、隣接する交通ターミナル整備に向けた取組を実施</li></ul>                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 公共交通サービスや交通結節機能の構築に向けてマリントウンMICEエリアの形成を進めることが重要</li></ul>                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 引き続き、<b>魅力あるエリアの形成に向けて検討するとともに、関係機関との連携を図る</b></li></ul>                                                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 東海岸を含めたネットワークイメージについて、圏域別の分科会で引き続き議論</li></ul>                                                                                                                                                        |
| 施策5 高速バスの拡充及び利便性の向上                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                               |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>JUNGLIA開業に伴う高速バスの新規運行</b></li></ul>                                                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>高速バス停周辺環境整備等</b>に向けた取組が課題</li></ul>                                                                                                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 引き続き、<b>施策の検討推進を期待</b></li></ul>                                                                                                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>高速バスOD調査の実施および体系的な交通施策の検討を実施</b></li></ul>                                                                                                                                                         |
| 施策6 各圏域での隣接市町村や拠点都市を結ぶ公共交通サービスのあり方検討                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                               |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>各圏域のネットワークイメージ具体化のため、関係市町村や交通事業者との個別ヒアリングを実施</b></li></ul>                                                                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>運転手不足や路線バスの確保・維持などの視点を踏まえ検討することが課題</b></li></ul>                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>各圏域のネットワークイメージ具体化に向け、引き続き議論を進める</b></li></ul>                                                                                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 圏域別のネットワークイメージの具体化に向けて、引き続き議論する</li></ul>                                                                                                                                                             |

# 1.2 令和7年度の進捗状況及び令和8年度の取組

## 目標2 県民全ての安全・安心で健康的な暮らしを支える交通環境の創出

| R7取組状況                                                                                                                              | 課題                                                                                                                | 今後の展開                                                                                                           | R8取組内容                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施策7 小中学校への歩く通学環境の整備推進                                                                                                               |                                                                                                                   |                                                                                                                 |                                                                                                                              |
| <ul style="list-style-type: none"><li>ゾーン30区域の道路管理者に対して物理的デバイス等設置の働きかけ実施等、通学路の交通安全施設整備を実施</li></ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"><li>送迎交通に関しては、マイカー送迎に依存しない行動変容が課題</li></ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"><li>通過交通の流入回避に向けた生活道路の交通安全対策について取組を進める予定</li></ul>                            | <ul style="list-style-type: none"><li>引き続きゾーン30区域の道路管理者に対して物理的デバイス等設置の働きかけ実施等、通学路の交通安全施設整備を実施</li></ul>                      |
| 施策8 高校通学の需要・ニーズ把握と支援事業の継続・拡充                                                                                                        |                                                                                                                   |                                                                                                                 |                                                                                                                              |
| <ul style="list-style-type: none"><li>住民税所得割非課税世帯、児童扶養手当等受給世帯の高校生等を対象にバス・モノレール通学費の無料化を実施</li><li>県立高校通信制課程の生徒へのアンケート調査を実施</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>新入生の入学後、通学費の速やかな支援</li><li>アンケート調査の結果、支援が必要な生徒が一定数いることを把握</li></ul>         | <ul style="list-style-type: none"><li>引き続きインターネットでの申請ができるよう取り組むとともに、新たな周知方法を検討</li><li>通信制高校への支援拡充の検討</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>新入生に対しては、入学前にインターネット申請での受付を継続する</li><li>県立高等学校の通信制課程に在籍する生徒に対して、通学費支援を開始</li></ul>     |
| 施策9 大学におけるキャンパスバスシステム等の検討                                                                                                           |                                                                                                                   |                                                                                                                 |                                                                                                                              |
| <ul style="list-style-type: none"><li>琉球大学キャンパスMaaSの実装に向けた取組を実施</li><li>西普天間への新規バス路線は運行を開始しているが、路線の拡充について検討中</li></ul>              | <ul style="list-style-type: none"><li>インセンティブや原資確保が課題</li><li>病院移転後の交通状況のほか、運転手等のリソースを踏まえた検討が必要</li></ul>         | <ul style="list-style-type: none"><li>施策19と連携した取り組みが重要</li><li>バス事業者等と調整を続ける</li></ul>                          | <ul style="list-style-type: none"><li>施策19と連携した取り組みを推進</li><li>294番線（てだこ浦西駅～西普天間）の朝夜の増便に係る実証実験を実施</li></ul>                  |
| 施策10 高齢者・障がい者等への移動支援策等の検討・拡充                                                                                                        |                                                                                                                   |                                                                                                                 |                                                                                                                              |
| <ul style="list-style-type: none"><li>免許返納者の運賃割引や高齢者等無料化等の取組を一部自治体で実施中。またバリアフリー対策として低床バス導入やエスコートゾーンを設置</li></ul>                    | <ul style="list-style-type: none"><li>免許返納優遇措置や運賃低減の拡充が課題</li><li>低床バスの導入拡大</li><li>バリアフリー対策の設置できる箇所に制限</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>免許返納支援制度拡充や運賃低減に向けた取組を促進</li><li>引き続き低床バスやバリアフリー対策を推進</li></ul>           | <ul style="list-style-type: none"><li>バス事業者に対して引き続き補助事業の活用を促し、ノンステップバスの導入支援を行い、導入率の向上を図る</li><li>高齢者等の移動に要する経費への支援</li></ul> |
| 施策11 自助や共創等による持続可能な地域公共交通サービスの検討・拡充                                                                                                 |                                                                                                                   |                                                                                                                 |                                                                                                                              |
| <ul style="list-style-type: none"><li>市町村においてコミバスやデマンド交通に加え、カーシェアリング、病院、商業施設等による送迎交通等が運行中</li></ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"><li>新たな地域公共交通サービスについて、多様な部門との連携強化や持続可能な運営が課題</li></ul>                          | <ul style="list-style-type: none"><li>引き続き地域の公共交通協議会等での議論や関係部署との連携強化を図る。</li></ul>                              | <ul style="list-style-type: none"><li>各地域の公共交通協議会等で、共創による持続可能な公共交通サービスについて検討を図る</li></ul>                                    |
| 施策12 各市町村中心部・中心地における交通まちづくりの重点的な検討                                                                                                  |                                                                                                                   |                                                                                                                 |                                                                                                                              |
| <ul style="list-style-type: none"><li>地域拠点や交通結節点に関する勉強会を実施</li><li>市町村地域公共交通計画は、R7年度時点で15市町村で策定済、9市町村で策定検討予定</li></ul>              | <ul style="list-style-type: none"><li>各自治体それぞれで地域拠点や交通まちづくりのあり方から議論することが重要</li><li>自治体内の人材、財源不足等も課題</li></ul>     | <ul style="list-style-type: none"><li>地域公共交通計画等交通まちづくりに向けた取組を進めていく</li></ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"><li>引き続き地域公共交通計画の策定に向けた取組を進めていく</li></ul>                                                  |
| 施策13 交通まちづくりにあわせた安全で快適な歩行環境の整備                                                                                                      |                                                                                                                   |                                                                                                                 |                                                                                                                              |
| <ul style="list-style-type: none"><li>胡屋周辺や名護漁港エリアで交通結節点と一体的なまちづくりを検討中</li></ul>                                                    | <ul style="list-style-type: none"><li>構想・計画の具体化に向けた取組が課題</li></ul>                                                | <ul style="list-style-type: none"><li>次年度以降も継続的に取組予定</li></ul>                                                  | <ul style="list-style-type: none"><li>自転車通行空間の整備</li><li>バス停上屋の整備（宮古管内1基）</li></ul>                                          |

# 1.2 令和7年度の進捗状況及び令和8年度の取組

## 目標3 誰もが快適に沖縄観光を楽しめる交通体系の構築

| R7取組状況                                                                                                                                                                                                                                         | 課題                                                                                                                                                          | 今後の展開                                                                                                                                                                                       | R8取組内容                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施策14 那覇空港の公共交通結節機能の拡充                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                           |
| <ul style="list-style-type: none"><li>関係機関（那覇空港事務所、沖縄総合事務局、NABCO）及びバス協会・事業者と連携し、バス停再編後、令和8年3月から方面別バス停留所の運用開始</li></ul>                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"><li>関係機関等と連携し、情報案内提供等の充実に取り組む必要がある</li></ul>                                                                              | <ul style="list-style-type: none"><li>関係機関（那覇空港事務所、沖縄総合事務局、NABCO）及びバス協会・事業者と連携し、バス停再編後、方面別のわかりやすいバス乗り場が実現する。</li></ul>                                                                      | <ul style="list-style-type: none"><li>関係機関等と連携し、バス乗り場が再編され、バス乗り場、バス発着情報、観光情報等を利用者にわかりやすい発信を行う</li></ul>                                                   |
| 施策15 空港・港湾・観光拠点エリアを結ぶ公共交通の利便性向上                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                           |
| <ul style="list-style-type: none"><li>観光2次交通結節点「北谷ゲートウェイ」の実証事業において、北谷ゲートウェイ主要観光地（ジャングルア沖縄経由美ら海水族館行き）を接続する直行バスの運行</li><li>北谷ゲートウェイを起点としたアメリカンビレッジを周遊するバスの運行</li><li>平良港や本部港などにおいて、循環バスを運行の実証を行った。</li><li>シャトルバスなどの案内人の設置、マナー啓発の動画を放映</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>実証事業終了後の事業展開について、北谷町と協議を重ねるとともに、関係者等と調整を図る必要がある。</li><li>実証事業終了の事業展開については、船社や港湾管理者も含めた協議が必要となるため、関係者等と調整を図る</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>北谷ゲートウェイの本格的な整備に向け、基本計画の策定に取り組むとともに、その間の実証事業を継続する。</li><li>那覇クルーズ促進協議会において関係者と連携を図りながら、船社および船舶代理店からの迅速な情報収集に努めることで、バスやタクシーなどの交通手段の確保につなげていく</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>民間路線の乗車人数を増やすための広報周知等の後方支援を行う</li><li>クルーズ船が寄港する自治体等と連携し、2次交通の受入体制強化を図りながら、シャトルバスや循環バスなど実証運行を行う</li></ul>           |
| 施策16 各観光地域への移動が可能な観光二次交通結節点の設置                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                           |
| <ul style="list-style-type: none"><li>令和6年7月25日より、観光2次交通結節点「北谷ゲートウェイ」の設置、ゲートウェイと主要観光地を接続する直行バス、美浜エリア周遊バス等を含めた実証事業を継続実施</li></ul>                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"><li>北谷ゲートウェイと観光拠点との接続・連携を強化していく必要がある。また、取組の周知を強化していく必要がある</li></ul>                                                       | <ul style="list-style-type: none"><li>首里城開園を見据え、新規の主要観光地と接続・連携のあり方等を検討・実施していくとともに、取組の周知強化を図る。</li></ul>                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"><li>観光客への認知度向上を図る周知広報の強化や北谷ゲートウェイからレンタカーへの接続を促す仕組の構築等を図る</li><li>北谷ゲートウェイを起点とした主要観光地を結ぶバスの実証運行や民間バスの運行支援を実施する</li></ul> |
| 施策17 観光まちづくりを踏まえた周遊型交通システム導入の検討                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                           |
| <ul style="list-style-type: none"><li>取組なし</li></ul>                                                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"><li>取組が進められていない</li></ul>                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"><li>今後の取組については、各自治体のまちづくりや交通結節点等の取組動向も踏まえながら、本施策の展開について検討していく</li></ul>                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"><li>交通結節点等の取組動向を踏まえ、本施策の展開について検討する</li></ul>                                                                            |

# 1.2 令和7年度の進捗状況及び令和8年度の取組

## 目標4 地域・事業者・行政等が一体で取り組む、持続可能な交通社会の実現

| R7取組状況                                                                                                                               | 課題                                                                                                                                | 今後の展開                                                                                                       | R8取組内容                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施策18 地域自らの政策と資源が総動員された取組                                                                                                             |                                                                                                                                   |                                                                                                             |                                                                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>県民モニターによるバス・モノレール半額実証事業を実施し、通勤利用等のバス利用促進を含めた調査分析を実施</li></ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"><li>今後の行動変容に繋げていくための新たな施策として次なる展開の検討が課題</li></ul>                                               | <ul style="list-style-type: none"><li>バス・モノレール半額実証事業の効果検証結果等を踏まえながら、新たな施策の展開を検討</li></ul>                   | <ul style="list-style-type: none"><li>バス・モノレール半額実証事業の効果検証結果等を踏まえながら、新たな施策の展開について検討していく</li></ul>     |
| 施策19 小中学校、高校、大学における送迎交通、マイカー通学削減に向けた取組                                                                                               |                                                                                                                                   |                                                                                                             |                                                                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>本島内の学校5校に対し、バスの乗り方教室を実施</li><li>琉球大学では駐車場有料化に向けた取組</li></ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"><li>特に繁忙期にはバスや運転手の手配が困難</li><li>学生を含む大学関係者の合意形成が必要</li></ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"><li>バス事業者との意見交換を踏まえながら効果的な施策展開を検討</li></ul>                               | <ul style="list-style-type: none"><li>本島の小学校・中学校、特別支援学校に対しバスの乗り方教室を実施予定</li></ul>                    |
| 施策20 業界団体・企業等に対する実効性のあるTDM施策の検討・推進                                                                                                   |                                                                                                                                   |                                                                                                             |                                                                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>バス・モノレール半額実証事業において、企業等勤務者のオフピークバス通勤への転換促進</li></ul>                                            | <ul style="list-style-type: none"><li>今後の行動変容に繋げていくための新たな施策として次なる展開を検討していくことが課題</li></ul>                                         | <ul style="list-style-type: none"><li>半額実証事業の効果検証結果等も踏まえながら、新たな施策の展開を検討</li></ul>                           | <ul style="list-style-type: none"><li>バス・モノレール半額実証事業の効果検証結果等を踏まえながら、新たな施策の展開について検討していく</li></ul>     |
| 施策21 公共交通利用促進に向けた広報、啓発活動の継続的な実施                                                                                                      |                                                                                                                                   |                                                                                                             |                                                                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>小学生のバス図画コンクール実施、高校生向けに学校周辺バスマップ作成、わった～バス党によるラジオ番組等を実施</li></ul>                                | <ul style="list-style-type: none"><li>広報活動が路線バスの利用促進等、行動変容に繋がるのかどうか、都度確認が必要</li></ul>                                             | <ul style="list-style-type: none"><li>アンケートやヒアリング等の事後検証を実施し、本施策も含めた新たな施策の展開を検討</li></ul>                    | <ul style="list-style-type: none"><li>高校生向けに学校周辺バスマップ作成、わった～バス党によるラジオ番組等を予定</li></ul>                |
| 施策22 デジタル技術等を活用した情報サービスの拡充とデータ連携                                                                                                     |                                                                                                                                   |                                                                                                             |                                                                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>沖縄県における交通デジタルシステム像と交通データの活用のあり方についての検討委員会を実施</li></ul>                                         | <ul style="list-style-type: none"><li>DX等を活用した情報サービスの拡充とデータ連携のあり方について具体的な検討が課題</li></ul>                                          | <ul style="list-style-type: none"><li>引き続き、バス事業者等とあり方について意見交換等を実施</li></ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"><li>ODデータ等の取得・活用へ仕組みづくりの検討、および既存の交通データを活用したデータ分析の実証実験を実施</li></ul> |
| 施策23 バス路線確保・維持のための事業推進と新たな仕組みの検討                                                                                                     |                                                                                                                                   |                                                                                                             |                                                                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>生活路線において路線バスを運行し、欠損額が生じている路線バス事業者に対し、補助金にて支援を行い、路線の確保・維持に努めている</li></ul>                       | <ul style="list-style-type: none"><li>運転手不足やバス利用者減少は、運行回数減少や、路線の廃止につながるため、人材確保及びバス利用促進が課題</li></ul>                               | <ul style="list-style-type: none"><li>生活交通確保維持協議会にて意見交換</li><li>新たな仕組みや財源確保は今後検討</li></ul>                  | <ul style="list-style-type: none"><li>欠損額が生じている路線バスを運行するバス事業者に対し支援を行い、路線の確保・維持に努める</li></ul>         |
| 施策24 地域公共交通の運行、担い手の確保                                                                                                                |                                                                                                                                   |                                                                                                             |                                                                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>求人広告や資格取得等にかかる費用に対し、補助金にて支援。自動車学校の指導教官不足に対する支援を追加。</li><li>県外からのバス運転手確保に係る渡航費等の支援を実施</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>バスは各種取組にもかかわらず、募集を満たす採用数に至っていないことが課題</li><li>タクシー乗務員として必要な二種免許取得について、自動車学校の指導教官不足</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>引き続き、「交通事業者運転手等確保支援事業」により資格取得等を支援</li><li>県外からの運転手確保等の取組を強化</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>交通事業者等が実施する求人広告や資格取得等支援に係る経費に対する補助金を強化・継続</li></ul>            |

# 1.3 強力に推進する施策・事業の進捗状況

## 視点1 地域公共交通の未来を育むための根幹的な視点

### < R7取組状況 >

・骨格軸を形成する公共交通サービスの展開策（基幹バス、モノレール、バスタ関連、圏域ネットワーク関連施策）の取組は、関係機関が連携し必要な検討体制の下で着実に推進

### < 課題 >

・地域拠点や交通まちづくりに関する取組は、一部地域にとどまっているため、各市町村が抱える課題等を踏まえた継続的な勉強会、議論等が重要

### < 今後の展開 >

・骨格軸を形成する公共交通サービスの展開策は、引き続き果敢に取り組む  
・各市町村における地域拠点や交通まちづくりに関する施策に関しては、取組が加速することを期待

### < R8取組内容 >

協力型バスレーン実証実験の実施に向け、関係機関との合意形成に向けた協議等を実施  
モノレール延伸やLRT、BRTなどについては、引き続き、導入検討調査を実施  
名護・胡屋バスタ交通ターミナルについては、交通事業者等の意見を踏まえながら配置計画の検討を実施し、調査を推進

## 視点2 地域公共交通の再生に欠かせない視点

### < R7取組状況 >

・バス・モノレール半額実証事業を実施し、県民等の今後の行動変容に繋がる“きっかけづくり”に大きく寄与  
・業界団体・企業等に対する取組は、沖縄リ・デザイン官民共同宣言等で徐々に展開

### < 課題 >

・今後の行動変容に繋げるための新たな施策展開が課題  
・通勤交通等に対する実効性の高い施策検討（インセンティブ等を含む）が課題

### < 今後の展開 >

・半額実証事業の効果検証を踏まえた新たな施策展開を検討  
・通勤実態の分析等も踏まえながら、実効性のある施策等について、業界団体・企業等とも連携しながら引き続き推進

### < R8取組内容 >

バス・モノレール半額実証事業の効果検証結果等を踏まえた新たな施策の展開について検討  
学生生徒・高齢者等の交通困難者を対象とした運賃半額での実証事業を実施  
PIやオープンハウスなどを通して、県民の意見を集約し、県民が望む公共交通の将来像について調査・検討を実施

## 視点3 沖縄全体の持続的発展に必要な視点

### < R7取組状況 >

・観光2次交通結節点「北谷ゲートウェイ」の実証設置や、主要観光地との直行バス等を含めた実証事業を展開  
・路線バスへの補助による路線の確保・維持に努めている他、運転手確保のための様々な施策を展開

### < 課題 >

・北谷ゲートウェイと各交通結節点や観光拠点との連携強化、取組周知が課題  
・路線バスの運行回数減少や路線廃止等が継続

### < 今後の展開 >

・各地域の観光拠点、交通結節点等とも連携しながら、観光振興に寄与する施策を引き続き推進  
・生活交通維持確保に引き続き努め、取組の拡充を検討

### < R8取組内容 >

北谷ゲートウェイから主要観光地を結ぶバスの実証運行を実施する  
バス路線確保・維持のため、国及び市町村と連携して欠損額が生じている路線バスを運行するバス事業者に対し、補助金にて支援を行い、路線の確保・維持に取り組む  
運転手確保のため、二種免許状取得への支援や、県外からのバス運転手確保支援、求人広告への支援を実施する  
コミュニティバスやデマンドバスの導入・維持確保に取り組む

## **2 令和8年度 主な取組について**

# 道路整備と一体となった交通体系検討事業

## 背景

沖縄本島中南部都市圏の慢性的な交通渋滞を緩和するため、2環状7放射道路の整備が進められている。

特に、小禄道路や西海岸道路などの高規格幹線道路（外郭環状道路等）の整備により、那覇空港から北部地域へのアクセス時間の短縮や、中心市街地の交通量の減少などの整備効果が見込まれている。

## 事業内容

本事業では、これら高規格幹線道路（外郭環状道路）の供用開始を見据え、高速バスの利用実態を捉えた上で、小禄道路整備後の高速バスを中心とした公共交通体系や、外郭環状道路内の都市交通利便性向上等に向けた公共交通体系の検討を行うものである。

## 事業イメージ

### 本事業（施策検討）

#### エビデンス

高速バス利用者のOD調査

高速バス利用者の移動データ

#### 施策検討

体系的な交通施策の検討

#### チェック

道路整備を見据えた公共交通施策の検討

交通施策の効果を確認するためのシミュレーション

施策の有効性のチェック

### 各種データの利用

中南部PT調査、道路交通センサス、レンタカーOD、その他交通データ等

### 各事業へ展開

関連計画反映、実証事業の実施、実証後の実装化、個別事業推進、新規事業化

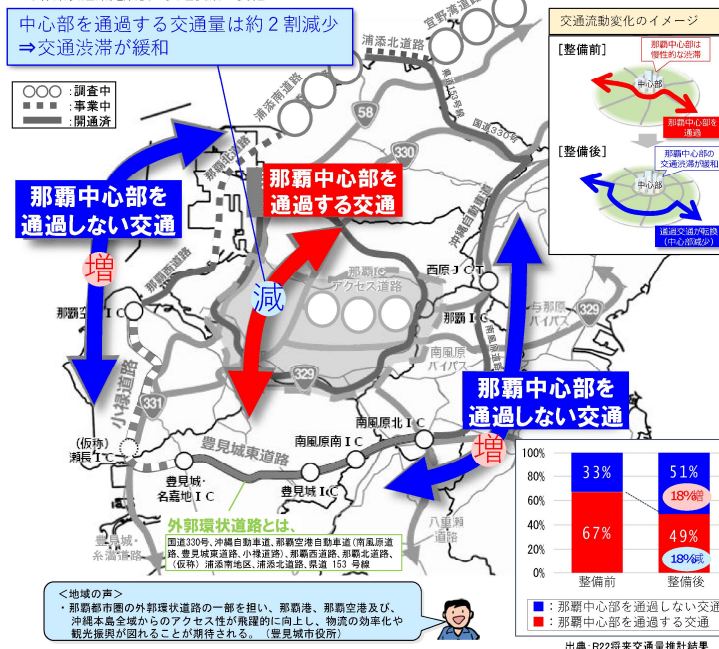
●整備前\_那覇空港からの圏域図



●整備後\_那覇空港からの圏域図



●外郭環状道路完成後の交通流動の変化



出典：小禄道路パンフレット（沖縄総合事務局）